

科目名		失語症Ⅲ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科3年			必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
成人における言語障害について、失語症を中心として、定義、鑑別診断、症候、タイプや重症度、予後を理解すると共に、基礎的な評価法と記録、分析方法を身に付ける。									
〔授業全体の内容の概要〕									
失語症について医学的観点からその基礎となる領域について学ぶ。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
失語症の基礎知識の確認と臨床現場の症例の訓練計画について									
回数	講義内容								
1	失語症の基礎知識								
2	失語症の検査・評価								
3	失語症の訓練								
4	非流暢の訓練								
5	流暢の訓練								
6	嚥下 失語症と関わりを交えて								
7	聴覚失認 //								
8	発語失行 //								
9	失読・失書 //								
10	失行 //								
11	視覚失認 //								
12	半側空間無視 //								
13	構成障害 //								
14	記憶障害 //								
15	認知症 //								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
失語症臨床ガイド					竹内 愛子		協同医書出版社		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。									